

(7 月 1 日) : EVFTA により投資家心理が改善

ペトロベトナムガス(GAS)とベトナム産業貿易商業銀行 (CTG) は VN 指数を 965 ポイントを超えて上昇させるのに最も貢献した。投資家は EVFTA に期待を寄せており、相場見通しに楽観的になった。

日曜日にベトナムと EU は EVFTA と EU ベトナム投資保護協定 (EVIPA) にサインをし、ベトナムはゼロもしくは低い関税率で輸出をすることが出来るようになり、EU 企業のベトナムへの投資が加速することに期待が高まった。

このニュースが投資家心理を改善させ、農業、繊維、縫製、木材などの恩恵を受けるとされる企業に買いが集中した。

EVFTA、CPTPP とその他の貿易協定はベトナムの商品を新しい市場に参入することを促進する。

VN 指数は 15.67 ポイント上昇し、965. 61 ポイントで取引を終えた。市場は取引時間じゅうに上昇トレンドが続き、216 銘柄が上昇し 100 銘柄が下落した。

出来高は 1 億 6640 万株で売買代金は 3.8 兆ドンであった。先週末に比べ 8.8%下落したが代金は 15%上昇した。相対取引では 4300 万株、1.1 兆ドンが取り引きされた。

買いが集中した銘柄は、CTG でストップ高まで上昇し 360 万株が取引された。GAS も 6.3%上昇し 103,700 ドンで取引を終えた。

その他の銀行、石油ガス銘柄、VCB、TCB、BID、VPB、PLX、PLD などにも上昇した。

大型株ではビナミルク (VNM) が 1.6%上昇し 125,000 ドンで取引を終えた。ビンググループは 1.3%上昇し 117,200 ドン、VHM は 2.1%上昇し 81,000 ドンで取引された。

一方、FLC ファロス建設 (ROS) は出来高が 1220 万株であったが 0.2%下落し 29,750 ドンで 7 営業日連続の下落となった。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.58%上昇し 104.09 ポイントで取引を終えた。出来高は 2100 万株で売買代金は 2730 億ドンであった。

アジアコマーシャル銀行（ACB）、ビコストーン（VCS）はそれぞれ 1%、1.8%上昇し 29,200 ドンと 61,200 ドンで取引を終えた。

石油関連株の PVS、PVI、PVC、PVB などとも上昇して取引を終えた。

サイゴンハノイ銀行（SHB）は 400 万株が取り引きされ、ペトロベトナムテクニカルサービス（PVS）は 260 万株が取引された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。